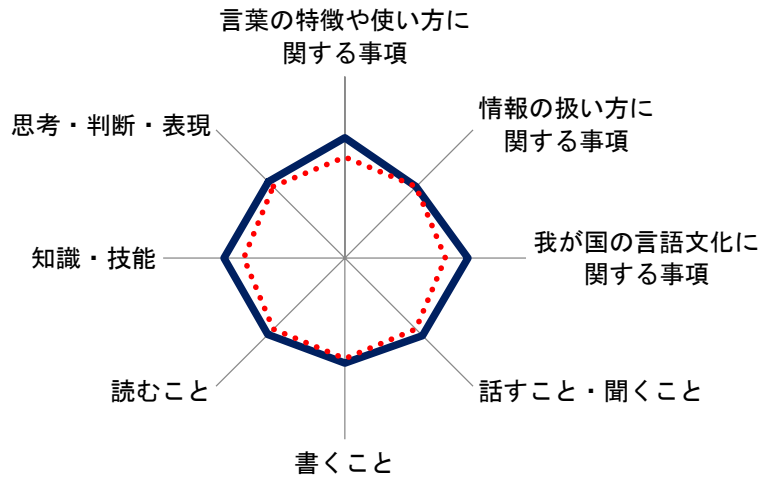


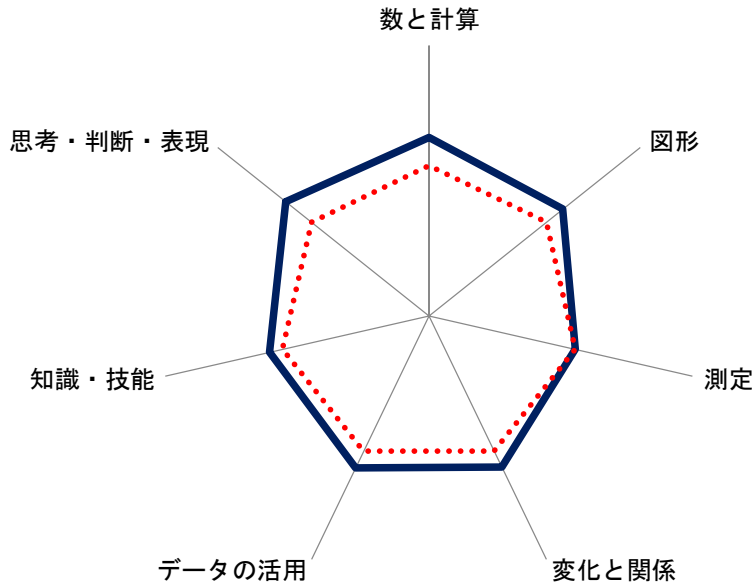
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 市平均
..... 全国平均

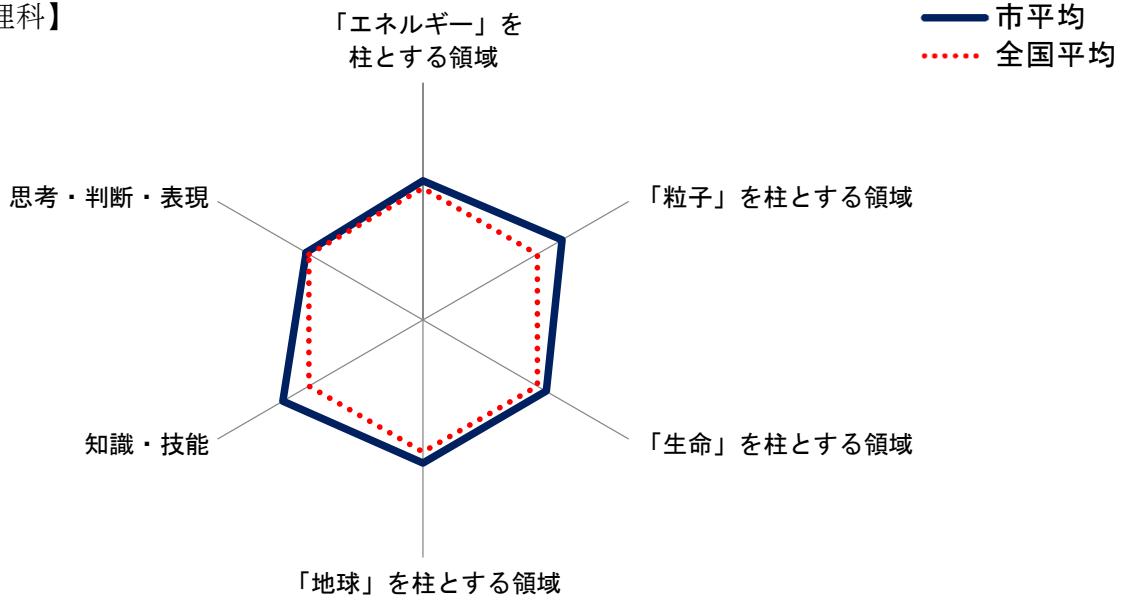


【算数】

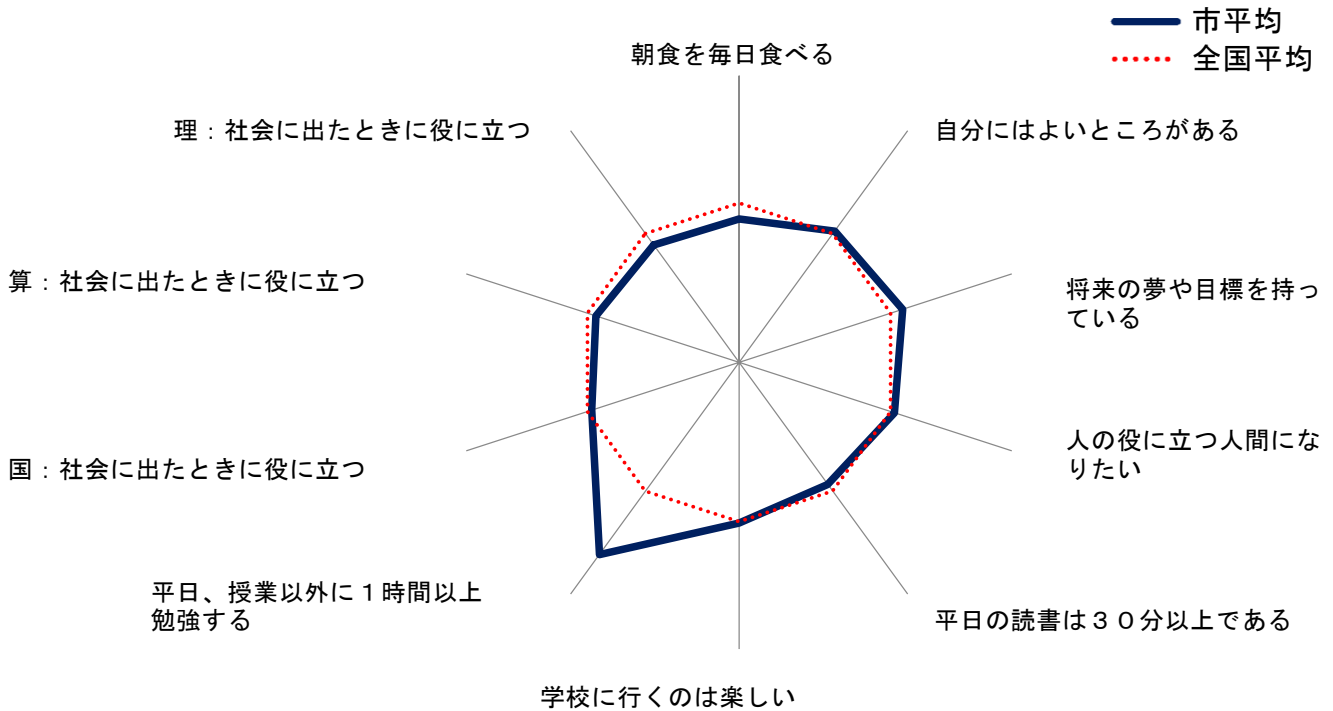


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、全ての項目が全国平均を上回っており、極めて良好な結果である。今後も、更なる学力の定着と向上に向けて、ICTの効果的な利活用を図り、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実することにより、子供たちの資質・能力を一層育成する取組を推進することが望まれる。

児童質問紙調査では、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」などの項目が全国平均を上回っており、自己肯定感や自己有用感を高める教育活動の推進の成果がうかがえる。一方、「平日の読書は30分以上である」「朝食を毎日食べる」の項目については、前回調査に引き続き課題が見られることから、学力向上の基盤となる読書習慣や基本的生活習慣の確立に向けて、今後、学校と家庭、地域が一体となって、より一層子供たちを支えていくことが望まれる。